［標準様式例４－３］

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和４年度長崎港における海洋再生可能エネルギー発電設備等取扱埠頭整備基礎検討業務
業務概要	計画準備 　計画準備　１式 資料収集整理 　洋上風力発電に関する情報の収集整理　１式 　波浪観測データ等の収集整理　１式 埠頭整備の可能性の整理 　長崎港の優位性及び課題の整理　１式 　港湾施設の構成・規模の検討　１式 候補地の検討 　候補地の検討　１式 候補地の港内静穏度の検討 　港外波浪変形計算 　　港外波浪条件の設定　１式 　　計算モデルの作成　４ケース 　　計算の実施　１２ケース 　　計算結果の整理　１２ケース 　港内波浪変形計算 　　港湾形状の立案　９ケース 　　高山法の実施　９ケース 　港内静穏度の評価　９ケース 　施設配置の検討　１式 有識者ヒアリング 　ヒアリング調査　２回 照査 　照査　１式 協議・報告 　事前協議　１回 　中間報告　１回 　最終報告　１回 成果物 　業務完成図書作成　１式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局長崎港湾・空港整備事務所長　大庭　靖貴 長崎市小ヶ倉町３－７６－７２
契約年月日	令和4年11月7日
契約業者名	一般財団法人沿岸技術研究センター
契約業者の住所	東京都港区西新橋１丁目１４番２号
契約金額	２６，７３０，０００円（税込み）
予定価格	２７，２１４，０００円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務は長崎港における海洋再生可能エネルギー発電設備等を取扱う埠頭整備の可能性について整理するとともに、港内の候補地において静穏度を考慮した施設配置案について検討を行うもので、豊富な知識と高度な技術を要することから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、配置予定技術者の経験・能力（技術資格、業務執行技術力）、本業務の実施方針、並びに本業務の特定テーマに対する技術提案書の提出を求めるとともに、配置予定技術者へのヒアリングを実施することにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価するものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、一般財団法人沿岸技術研究センターが最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第２９条の３第４項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものである。
業務場所	－
業種区分	建設コンサルタント等
履行期間（自）	令和4年11月7日
履行期間（至）	令和5年3月24日
備考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。